

子ども安全の日 一斉防犯パトロール

学校・家庭・地域が一体となって 青少年育成部会&小学校区防犯パトロール隊

当日は、日ごろ子ども達の見守りをされている青ハトの方、地域の方、保護者の方々が児童の登校に合わせてパトロールを行いながら小学校に集まり、セレモニーに参加された。

このセレモニーは、平成17年11月22日安芸区矢野西で発生した「木下あいらさん」事件等犠牲になった子ども達の痛ましい事件を思い起こし、より一層子ども達の見守り活動を強化し、継続していくため「子どもの安全を考え行動する日」として毎年この時期に行われている。

自治協青少年部会（部会長 中森幸恵）は、11月20日（金）小学校区防犯パトロール隊（隊長 大道博夫）の協力を得て、「子ども安全の日」のセレモニーを行った。

**セレモニーで決意新たに
子ども見守り活動
強化 継続を！**



セレモニー参加者によるシュプレヒコール

防犯パトロール隊長 大道博夫さんが決意表明を、おやじの会代表の細工正さんがシュプレヒコールを行った。

この企画は、「寄り合うことができなくとも寄り添うことのできる地域づくり」をモットーに、担当者がお宅を訪問しマスクをお借りしながら、声掛けし激励するもの。

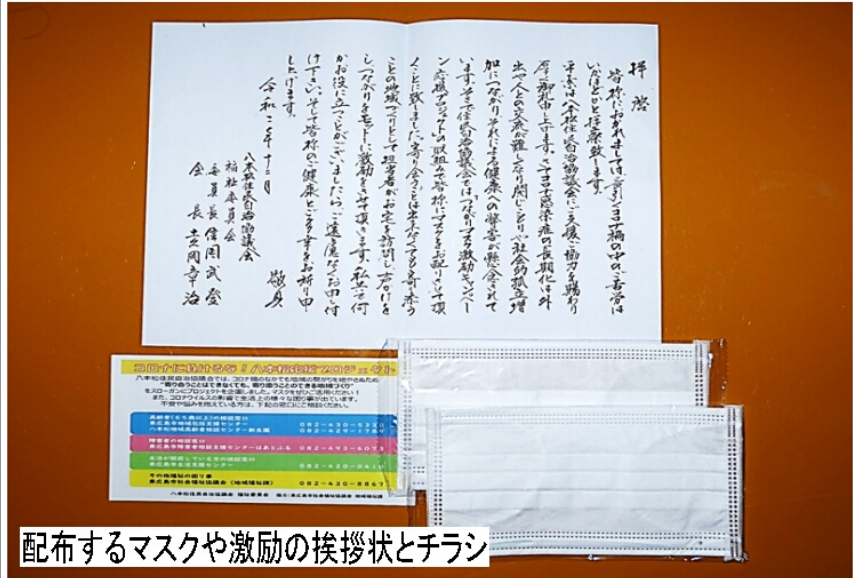
現在、コロナ感染症の長期化に伴い、外出や人との交流が難しくなり、閉じこもりや社会的孤立が増加し、高齢者の方の健康への弊害が懸念されている。そこで、少しでも地域とのつながりを絶やさないようにと、このプロジェクトが企画された。

自治協福祉委員会（委員長 信国武登）は、12月12日（土）「つながりマスク激励キャンペーン」に取組み、高齢者の皆様にマスクをお配りすることとした。

**コロナに負けるな！
八本松応援プロジェクト
つながりマスク激励キャンペーン 開始**

自治協 福祉委員会

末まで、今年77歳以上の方を対象に9/59世帯を訪問し、マスク、コロナ対策のチラシ、挨拶状をお届けする。



配布するマスクや激励の挨拶状とチラシ